

| （ 数 学 ） 科 （ 数 学 I ） 学 習 指 導 案 | | | | | | |
|-------------------------------|------------|---|----------------------|---|---|--|
| 学 級 | 1 年 6 組 | 教 室 | 1 0 6 教 室 | 指 導 者 | | |
| 単 元 | 第2章 2次関数 | | 教科書 | 改訂版 新編数学 I (数研出版) | | |
| 指 導 目 標 | 1 | 2次関数のグラフの平行移動を理解させる。 | 指 導 計 画 | 第1節 2次関数とグラフ | | |
| | 2 | 2次関数の値の変化をグラフで調べることにより最大・最小を求めさせる。 | | 1 | 関数とグラフ・・・・・・・・・・3時間 (本時はその1時間目) | |
| | 3 | グラフとx軸の位置関係を利用して2次不等式を解かせる。 | | 4 | 2次関数のグラフ・・・・・・・・・・7時間 | |
| 本 時 | 主 題 | 関数とグラフ | | | | |
| | 目 標 | 1 身の回りにある関数から、2つの量の間どのような関係があるかを考えさせる。 2 関係を定式化しグラフ化することで、関数やグラフの意味を理解させる。 | | | | |
| | 課 題 | 教科書P. 50補充問題を解いておく。 | | | | |
| | | 学 習 活 動 | 時 間 | 指 導 上 の 留 意 点 | 資 料 ・ 教 具 ・ 評 価 の 観 点 等 | |
| 指 導 過 程 | 導 入 | 1 | 課題を解答する。 | 10 | ・ 机間指導を行い、課題を点検する。 ・ 課題に取り組んでいるか確認する。 <関心・意欲・態度> | |
| | | 2 | 本時の内容を確認する。 | | | |
| | 展 開 | 1 | 対応表を用いて様々な関数のグラフをかく。 | 10 | ・ 高速道路の料金など身の回りには、関数で表されるものが多いことを気づかせる。 ・ 関数の定義をきちんと理解させる。 | ・ 関数のプリント ・ 小黒板 ・ 対応表からグラフ化できる。 <表現・処理> |
| | | 2 | 関数の意味と語句を説明する。 | 5 | ・ 関数の定義をきちんと理解させる。 | ・ 関数の定義を理解し、語句が使える。 <知識・理解> |
| | | 3 | 自分で関数を考え、グラフをかく。 | 10 | ・ グラフの形状や定義域を意識させる。 | ・ 身の回りの事象を関数として捉えることができる。 <数学的な見方や考え方> |
| 整 理 | 4 | グラフを発表する。 | 10 | ・ x と y の関係をわかりやすく説明させる。 | ・ 他の生徒にわかりやすく説明できる。 <表現・処理> | |
| | 1 | 本時のまとめをする。 | 5 | ・ 身の回りにはまだ多くの関数が存在していることを実感させる。 ・ 課題を提示する。 | | |
| 備 考 | 普通科 生徒数40名 | | | | | |